
夢をみる

憲兵A

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
夢をみる

【Nコード】
N4197M

【作者名】
憲兵 A

【あらすじ】
ただの書き殴りであり、深く考えようとも何も出てきません。

自分以外、誰もいない道。自分以外、誰も通らない道。
あるのはただ、走る自分と道と付随する光景。

道は姿を時々変える。

小さく凹凸ができる。のぼり坂へ、下り坂へなる。砂地になる。コンクリートで、レンガで舗装される。車道になる。歩道になる。周りに建物が立ち並ぶ。

人はいない。おそらくだが、生命に分類されるものは自分以外に存在しない。昔、他に存在していた気がするが、それがなにかは忘れた。

ここに自分と道だけ存在すればいい。消えた者にはここに存在する理由がなくなったのだ。そもそも、ここには自分と道以外は不要の存在であるのは明白な事実だ。

ここは夢が潰えたが、あきらめられない。しかし、再び叶えることをしようとしもないものの居場所。自分も例外ではない。だから走り続けるのだ。このうたかたの意識の中で。

自分以外、誰もいない道。自分以外、誰も通らない道。

あるのはただ、走る意識と道と景色に見える幻。所詮は幻想であり、泡沫といっても過言ではないうたかたの夢想。競う相手も高めあう者もいないまま、意識は疾走を続ける。疲れを知らず、用意した道の上を走り続けるだけ。

終わりもなく、走り続ける。ここは未練を持つ者の場。しかし、本当に終わりが無いわけではない。ここはしょせん、夢なのだから。夢想が作り出した、存在自体のあやふやなものなのだから。

永遠など存在しえることはない。ここにも、そこにも。なににも、誰にも。

強いて言うならば、永遠が存在しないことが永遠のこと。永遠はそれではない。

今日もこの場に終わりが見えてきたようだ。

一日が始まり、そして終わり、この場へ来て、この場を去る。いたいあと幾日、幾月、幾年を経ればこれは終わるのだろうか。その答えを探し当てる者は皆目、この場の存在を知らない。ここは未練を持つ者の場なのだから。

例え幻想であるとわかっていても、止まらないものの場だから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4197m/>

夢をみる

2010年10月20日17時56分発行